

大町ダム、高瀬川の「瀬切れ」 解消のための「追加放流」を終了！

大町ダムでは、9月2日に高瀬川において「瀬切れ」発生の恐れがあることが確認されたため、ダムから9月2日12時00分より、通常放流量に追加して水を流す「追加放流」を開始し、9月3日9:00に終了しました。
追加放流は8月9日、16日、20日、27日につづき、5回目です。

1. 経過

8月 9日～14日	毎秒1.0m ³ の追加放流を実施 追加放流量:約36万m ³
8月16日～18日	毎秒0.5m ³ の追加放流を実施 追加放流量:約15万m ³
8月20日～24日	毎秒1.0m ³ の追加放流を実施 追加放流量:約61万m ³
8月27日～30日	毎秒0.5m ³ の追加放流を実施 追加放流量:約14万m ³

※8月の追加放流累計:約126万m³

9月 2日 12:00 現地にて瀬切れ発生の恐れがあることを確認
9月 2日 12:10～ 毎秒0.5m³の追加放流開始
9月 3日 9:00 水位の回復を確認したため、追加放流を終了
※9月2日～3日の追加放流総量は約4万m³

※追加放流量累計:約130万m³

2. 瀬切れの定義

瀬切れとは、川の流れが途中で途切れてしまう現象です。川本来の「流れ」をなくし、川の一部が途切れることにより魚類等の高瀬川に棲む生物に大きな影響を与えます。

大町ダムでは、河川水深が対象魚類の移動できる限界の水深である約15cmを下回った状態を「瀬切れ」としています。

対象魚類・・・ウグイ、アユ、ヤマメ、カジカ等